

## 年間学習計画と評価について

学 校 名	学 年	教 科
内 部 中 学 校	2 年	技術・家庭科 家庭分野

### 1 学習のねらい等

学習のねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>◎ 調理実習などの体験的な活動を通して、生活の中で食事が果たす役割や、健康と食事の関わりなど生活の自立に必要な基礎的な知識と技術を習得する。</li> <li>◎ 生活に必要な基礎的な食品の選び方や日常食の調理に関心を持ち、いろいろな食品や調理器具を適切に活用する能力を養う。</li> <li>◎ 食品や調理器具を適切に扱い、簡単な日常食の調理ができるなど、生活を工夫し、創造する能力を養う。</li> <li>◎ 大きな災害に備え、食生活で工夫できることについて考える。</li> <li>◎ 販売方法の特徴や消費者保護について知り、生活に必要な物資・サービスの適切な選択・購入および活用ができるようになる。</li> </ul>
使用教材	教科書： 技術・家庭 家庭分野（東京書籍） プリント

### 2 評価の観点および方法

	評 価 の 観 点	評 価 の 方 法
① 生活への関心・意欲・態度	食生活や住生活・家族に対する関心を高め、毎時間の学習や体験的な活動に意欲的に取り組む態度をもって学ぼうとする。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習活動への参加の仕方や様子</li> <li>・課題に取り組む様子</li> <li>・プリント等の記入内容</li> <li>・授業での発言の内容</li> </ul>
② 生活を工夫し、創造する能力	学習したことを実習や生活の場で生かし、工夫しようとする。また、災害などに備えた食生活について考えることができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・授業での発言の内容</li> <li>・課題に取り組む様子</li> <li>・作品製作に取り組む様子</li> <li>・プリント等の記入内容</li> </ul>
③ 生活の技能	安全に配慮し、効率よく丁寧に調理ができる。調理用具を適切に使うことができる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作品の提出内容</li> <li>・作品製作の取り組む様子</li> </ul>
④ 生活や技術についての知識・理解	食生活についてその特性などを理解し、その知識を身に付けている。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・定期テストおよび小テスト</li> </ul>

### 3 学習計画

	各単元と主な学習内容	観点別評価の具体例
二期学	食生活と栄養 調理と食文化	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 自分の食生活を振り返り、その課題を見つけ、食事の役割について理解できる。</li> <li>② 栄養素の働きや、中学生の時期に必要な栄養の特徴について理解できる。</li> <li>③ 課題の解決をめざして食事のとり方などについて考え、工夫することができる。</li> <li>④ 食生活や栄養素について意欲的に学習し、興味・関心をもっている。</li> <li>⑤ 包丁や計量の基本的な技術や調理操作ができる。</li> <li>⑥ 食生活の安全と衛生に興味・関心をもち、意欲的に学習ができる。</li> <li>⑦ 災害時に備えた食生活での準備や工夫を考えることができる。</li> </ol>
三期学	献立作りと食品の選択 調理と食文化	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 身近な食品について理解し、献立を立てることができる。</li> <li>② 食品の保存と、加工方法を理解し、必要に応じた使い分けを考えることができる。</li> <li>③ 基本的な調理操作ができる。</li> <li>④ 食品の調理上の性質や、基本的な調理方法について理解することができる。</li> </ol>
三期学	わたしたちの消費生活と環境	<ol style="list-style-type: none"> <li>① 身近な販売方法の特徴や利点と問題点について関心をもつことができる。</li> <li>② 支払いについて特徴を理解し、生活の中での問題点と結びつけて考えることができる。</li> </ol>

### 4 学習方法についてのアドバイス

学習方法	学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>・チャイムが鳴るまでに授業の準備をして、着席しておきましょう。</li> <li>・授業に積極的に取り組もう。また、調理実習においては、忘れ物をしないことと、安全面に気をつけて取り組みましょう。</li> <li>・授業での発問などには、積極的に参加して発表しましょう。</li> <li>・ファイル・ワーク等の提出物は期日を守りましょう。</li> </ul>
	家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・毎日の新聞やニュースで、家庭生活に関心を持とう。</li> <li>・家庭での仕事を積極的に手伝うことで、家族としての役割を自覚し、実技能力を高めよう。</li> <li>(特に冬休み等の長期休暇には家族の一員として自覚を持って手伝おう。)</li> <li>・日常生活だけでなく、日頃から災害時の準備についても家族と共に話し合おう。</li> </ul>

